

～安心を作り上げ、共感に生きていませんか？～

「大人かわいい」という今の社会現象を知っていますか？これは、女性が何かをアピールするためにしている服装です。何をアピールしていると思いますか？これは、同性にかわいいと思われたい服装です。また、「草食系男子」も社会現象になっています。「お金はいらぬ。その日暮らしでいい。草だったら何でもいい…新鮮なもの・良いものを求めない。」という自らで動けない男子です。「大人かわいい」と「草食系男子」は同じ現象です。これに似た場面が旧約聖書の中にあります。バベルの町です。人々の神さまに対する反逆がここから始まります。アダムとイブの時代に原罪が生まれ、人々があまりにも悪い事をするので、ノアの時代に一度リセットされた後の出来事です。人々は、1つのコミュニティを形成するにあたって「この輪がいつか壊れるんじゃないか」と、神を恐れ始めました。そこで、彼らは、神のようになると権力を示す大きな城を建てます。これがバベルの塔です。バベル（ヘブル語）は他の箇所ではバビロン（ギリシャ語）と使われています。バビロンは門、バベルは混乱という意味です。神の門から出たバベルの民は恐れたとおり散り散りにされ混乱します。言葉も皮膚の色も全てが違う民族にされて、その民族同士で争いが始まります。その争いの原点がここにあります。人間が何か目印を作ってそこに共感しようとしました。今起こっている社会現象はこれと似ています。人間は、動物の中で唯一言葉で共感をし合う動物です。今、男性が力を無くしています。だから女性の服装は男性から共感を得られないがために同性から共感を得ようとするものになっています。女性のあばら骨から作られ男性と共にあり、心を思いやる役割の女性と、その女性を守る役割の男性を神さまは区別してつくられたのに、怖い事です。バベルの人々は全地に散らされる事を恐れて行動しました。それが、塔を建てる事でした（創11:1~9）。そして現代の男性はこれが延長して責任をとる事が嫌になりました。だから「責任・努力によって得られる富なら要らない」と言い出しました。私たち（特に男性）は率先して責任をとる行動をしているのでしょうか？自らに任されている事をやり遂げようとしているのでしょうか？周りの人に流されて自らで決断をしない生き方をしていないのでしょうか？自分の考えだけに固執して話し合いを放棄していないのでしょうか？これが出来ないと神さまの本来の計画が止まります。私たちが神さまの計画を止めてはいけません。また、モーセが山から降りてこなかった時に女性が作ってしまった金の牛。これを拜んでしまった11部族は滅んでしまいます。女性が作り上げてしまっている牛…これが共感ツールである「大人かわいい」です。みなさんが共感するツールは何のために持っているのですか？「喜ぶ者と共に喜び、悲しむ者と共に悲しみなさい」と聖書は言っている事なので共感し合う事は良い事です。しかし、今の世の中の人たちが得ようとしている共感「自分が存在しているアイデンティティーの確認」のためにしているのです。お互いに気持ちが分かるから同じ考えの人に気持ちを知ってもらえば良いと言う共感意識を持って慰め合うことでいいのです。私たちははこういう人生を送っていないでしょうか？私たちそれぞれが自らのカラーで自分をアピールし、そのアピールした良い部分を共感し合う事は良い事です。しかし、前述のように自分のアイデンティティーを失っていく事がバベルです。私たちは独自のカラーでありたいです。だれも真似できないところに到達するのもクリスチャンの責任です。驚のように高く上がりましょう。洪水が起こった時、その波にのまれる側ではなく「あそこに丘があるよ」と教える側でいましょう。（詩121全部）5節に「右の手」とあります。これは私たちの進むべき行動を意味しています。神さまはこの「右の手」を守られると言っています。私たちは何か行動しなければいけません。私たちのカラーを私たちの教会で打ち出さなくてはいけません。神さまが「右の手」で天地創造をなされたように私たちも祈りによって「右の手」で創造して行かなくてはいけません。その時に神さまは守られるのですから、人からの共感を求めないでください。誰もが私のやっている事に共感してくれなくても良いのです。ノアが洪水前に箱船を作っている時、誰も共感してくれませんでした。しかしノアは「右の手」で神がせよと言われる事を止めませんでした。でも次の民は過ちを犯しました。集団を求めてしまいました。ですから私たちは集団を求めないようにしましょう。教会は神さまの働きを担っている器官として共に働く共同体であって集団ではありません。一人一人が目をもって進むべきかそうじゃないかを判断しなければなりません。私たちは、バベルを築かないために、**①アイデンティティーの確認**。見るべきものが必要です。あなたは何のためにここにいるのですか？あなたのアイデンティティー**②人や物にツールを得ない**。お金・保険・服・ブランドなど、これさえあれば大丈夫と言っていますか？そう言った時点であなたの心にバベルが出来てきています。自分が何かを失わないために建てたのがバベルです。だから、あなたが自分を失わないための方法（道具）がツールでバベルなのです。神さまは言っています（6節）。だから、私たちが人や物にツールをおいて失う事を恐れていると、その失う事を恐れていた物を失います。聖書にあなたが自らを得ようとするのを失うとかいてあるのはこういうことです。今あなたは何か執着していませんか？お金・人・仕事・生活…そういう物に執着していくのは、自分のアイデンティティーに置き換えようとしているのです。目に見えると楽だからです。私たちが目に見える物にアイデンティティーを求め始めると怖い事です。私たちが本当に欲しい物は何ですか？愛ですか？信頼ですか？そういうものは目に見えません。信頼があって人は心で通じ合うのです。それを服などで共感意識を持っているから集団になってしまうのです。私たちは流れにのまれていないのでしょうか？人や物にツールを得ないようにしましょう。良いものを自らで築きましょう。**③問題を恐れぬ**。私たちが自らの人生で目標を持っていれば、正しく歩んでいけば、問題は問題ではなくなります。だけど、正しく行わないと問題は次々と起きます。だから、問題が起こった時に私たちの真価が問われます。問題が起こった時に、本当にそれが問題なのか考えてください。（ヤコブ1:2~4）試練は喜びです。失敗・問題を乗り越え解決した事のある人は言えます。この達成し完成させた喜びを知っているからです。私たちは問題を恐れてはいけません。妥協せず自らのアイデンティティーを喪失しないようにしてください。私たちの好きな方法やり方で…それは聖書に土台を置いて神さまの方法でやらなければいけません。私たちが神さまと1対1になって、私たちが何をすべきかを考えて、私たちに任された事は絶対に妥協せずにやりましょう。そうすれば、私たちの考えに賛同する人が、私たちのやり方を学ぶようになります。するとその人も独立して正しい判断を神さまのしもべとしてするようになります。そうしないと世の中の宗教団体のように同じ集団になってしまいます。クリスチャンたるものみんな違って良いのです。教会は同じになるところではありません。私たちのカラー・能力を引き出すのがこの教会であって、私たちはこの場から出て行って自分たちが置かれた場所へ自らの教会を牧会してください。（要約者：行司佳世）